

平成 20 年度 JCI 四国支部第 2 回拡大幹事会議事録

日 時:平成 20 年 12 月 26 日(金)14:00～16:30

場 所:香川大学工学部安全システム建設工学科会議室

出席者:堺支部長、氏家幹事、島幹事、橋本幹事、古田幹事、明石常任委員、横井常任委員、鷺津常任委員、
天羽(会計監査)、井戸(四国支部事務局)

欠席者:水口本部理事、熊沢幹事

配付資料

- 2-1 JCI 四国支部平成 20 年度第 2 回拡大幹事会議事次第
- 2-2 JCI 四国支部平成 19 年度及び平成 20 年度役員名簿
- 2-3 平成 20 年度 JCI 四国支部第 1 回拡大幹事会議事録
- 2-4 JCI 平成 20 年度支部会議 会議資料
- 2-5 日本コンクリート工学協会四国支部旅費内規(案)
- 2-6 「四国の骨材に関する研究委員会」WG3・WG4 合同委員会
第 1 回委員会議事録及び第 2 回委員会議事録
- 2-7 「四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究会」
第 4 回委員会議事録及び第 5 回委員会議事録
- 2-8 「ブリッジマネジメント・ワークショップ開催」のご案内
- 2-9 「2007 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う四国地区講習会」のご案内及び収支報告
- 2-10 「フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する講習会」のご案内及び会計報告
- 2-11 「平成 20 年度 JCI 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナー in 広島」開催のお知らせ及び収支報告
- 2-12 JCI 四国支部現場見学会のお知らせ・報告及び会計報告
- 2-13 日本コンクリート工学協会定例理事会議事録

審議事項

1.会長挨拶

堺支部長より拡大幹事会の開催にあたり、挨拶が行われた。

2.JCI 四国支部平成 19 年度及び平成 20 年度役員の確認

資料 2-2 に基づき、堺支部長より、常任委員の移動に伴い吉良 勉氏の後任として鷺津隆廣氏が常任委員に就任するとの報告がなされ、鷺津氏より挨拶がなされた。

3.平成 20 年度 JCI 四国支部第 1 回拡大幹事会議事録の確認

資料 2-3 に基づき、堺支部長より説明があり、以下の訂正の上承認された。

- ・(4)講演会①「H19 年度生コンセミナー in 徳島」について、「今年度」を「今後」に訂正。
- ・(5)現場見学会について、「赤石常任委員」を「明石常任委員」に訂正。

4.日本コンクリート工学協会四国支部旅費内規(案)の審議

資料 2-5 に基づき、堺支部長より説明があり、承認された。

5.JCI 四国支部平成 20 年度活動状況及び今後の予定の確認

以下の審議がなされた。

(1)研究委員会活動

①「四国の骨材に関する研究委員会」WG3・WG4 合同委員会について

資料 2-6 に基づき、島幹事(WG3 主査)及び橋本幹事(WG4 主査)より活動内容について具体的な説明、報告がなされた。

・研究委員会は、平成 21 年 3 月 10 日 14:00～香川大学工学部で開催する。

・WG3・WG4 合同委員会は、第 3 回委員会を平成 21 年 3 月 27 日松山にて開催する。

②「四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究委員会」について

資料 2-7 に基づき、氏家委員長より活動内容について説明、報告がなされた。

・本委員会の成果に関する講習会を開催する。

(2)講習会

①ブリッジマネジメント・ワークショップ開催について

資料 2-8 に基づき、講習会の内容について確認した。

②2007 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う四国地区講習会

橋本幹事より、資料 2-9 を用いて説明があった。

・収支報告について、収支差額 597,576 円の黒字分を土木学会と各 298,788 円、折半した。

③フライアッシュの有効利用と混和コンクリート構造物の耐久性に関する講習会

橋本幹事より、資料 2-10 を用いて説明があった。

・収支報告について、収支差額 108,180 円の黒字については、報告書作成のための赤字分を補填したことに相当するとの説明があった。

④平成 20 年度 JCI 中国・四国支部共催コンクリート工学セミナーin 広島

橋本幹事より、資料 2-11 を用いて説明がなされた。

⑤生コンセミナーin 愛媛

詳細は未定だが、氏家幹事が企画・実施することが確認された。

⑥JCI 四国・中国支部共催コンクリート工学セミナーin 高知

詳細は未定だが、熊沢幹事が企画・実施する予定であり、島幹事が確認することになった。

(3)現場見学会

資料 2-12 を用いて明石常任委員より説明がされた。

- ・参加定員 40 名のところ 18 名の参加となり、貸し切りバスの支出が大きく赤字となった。
- ・参加費について、学生に関しては半額の 500 円を徴収した。

(4)コンクリート診断士試験及びコンクリート技士・主任技士試験

堺支部長より、受験者・合格者の状況が報告された。

①コンクリート診断士試験

平成 20 年 7 月 27 日(日) 11:00～17:00

香川大学工学部

受験申込者数	186
受験者数	153
合格者数・高松	20(13.1%)
合格者数・全国	5,964(15.9%)

()内は合格率

②コンクリート技士・主任技士試験

平成 20 年 11 月 30 日(日) 13:30～16:30

香川大学経済学部

	技士		主任技士	
	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
受験申込者数	305	349	112	100
受験者数	262	313	96	94
合格者数・高松	85(32.4%)		17(17.7%)	
合格者数・全国	2,601(30.7%)		386(12.2%)	

()内は合格率

(5)コンクリート教育への助成

堺支部長より、高松工業高等専門学校へ 10 万円の助成金が支給されたことが確認された。

(6)ホームページ運営

横井常任委員より、ホームページの新着情報に関して迅速に記載することができており、アクセス件数が確実に増加しているとの報告がなされた。

(7)会員増強

堺支部長より、現在の会員数について説明があった。

	正会員(名)	団体会員(社)
平成 17 年 8 月	226	7
平成 18 年 10 月	215	15
平成 19 年 12 月	237	21
平成 20 年 12 月 (12/19 現在)	243	20

- ・団体会員が 1 社減ってはいるものの、正会員及び団体会員の総数は確実に増加している。
- ・香川県生コンクリート監査会議に於いては、5 社に対して特別表彰がされることになり、その基準として JCI 会員であることも加点され、会員数増加に繋がることを期待しているとの説明がなされた。また、他県についても更なる会員増加に繋がるよう努力することで合意した。

6.平成 21 年度研究委員会

氏家幹事が委員長である「四国のコンクリート構造物のアセットマネジメントに関する研究委員会」が今年度で終了するに伴い、新しい委員会の発足について、大内常任委員(高知工科大学)、徳島大学の環境系の JCI 会員の方が委員長候補としてあがり、検討していくことで合意した。

7.日本コンクリート工学協会定例理事会議事録

橋本幹事より、資料 2-13 に基づき説明があった。

8.公益法人制度

堺支部長より、資料 2-4 に基づき、JCI の公益法人化の準備状況について説明があった。公益法人になると、支部との連結決算となり、支部として対応する必要があることが述べられた。

9.その他

以下の会議日程が決定された。

平成 21 年度第 1 回拡大幹事会:平成 21 年 5 月 8 日(金)香川大学

平成 21 年度役員会及び総会:平成 21 年 5 月 22 日(金)

以上